

平成28年度 横手支援学校教育プランの年次目標と総合評価

秋田県立横手支援学校

【目標1 ;安全・安心で笑顔あふれる学校づくり】

※評価：A～到達度100～90% B～到達度80% C～到達度60%

具体的な目標・取組・推進目標	取組の具体	H27評価 (主担当部署)		年次の総合評価	
				H28	H29
1 児童生徒の多様な実態と教育的ニーズに応じた教育課程の編成	○キャリア教育全体計画・指導内容の学部間の系統性と関連性がわかる年間指導計画の作成	研究部 教務部	C C		
	H28～29年度の指針 ・教育課程の定期的評価による検証・改善(4,7,12,2月) (小・中・高の系統性のある教育課程) ・年間指導計画の様式の改善(4月)と活用の検証(12月) ・教育課程の3つの視点の具体的内容と方法の検討・実践 (7月,12月,2月)				
	○学校教育目標と教育課程の整合性の確認と、PDCAサイクルによる定期的な見直し	小学部 中学部 高等部	B B B		
	H28～29年度の指針 ・生活・学習・保健の月目標の提示と目標達成評価(全:11回) ・年間計画と月・週案の指導内容や時数の定期検証(小:年4回) ・教育課程の共通理解と見直し(中:年4回) ・校外学習、地域資源、交流を視点とした単元構想(中) ・教育課程の評価項目の明文化(高) ・教育課程の学期末評価(全学部:年3回実施)				
2 多様な実態に対応する学習指導の充実	○ライフキャリアの視点による授業づくりと授業改善 他学部職員の授業参観、学部・全校研修会の活性化 指導形態の共通理解と指導の重点事項の確認、提示	研究部	B		
	H28～29年度の指針 ・年間指導計画検討会(2回)と単元構想会(各1回、年16回) ＜助言:授業改善コーディネーター＞ ・ミニ学習会＜水曜開催＞の実施(専門性の向上:年5回) ・横手のスタンダード(授業づくりの基礎・基本)の活用 ・児童生徒の実態と願いに即した教育課程の編成(実践研究充実事業の成果を、新教育課程の編成につなげる)				
	○外部専門家と連携した自立活動の充実(肢体不自由・自閉症等)	小学部 中学部 高等部	B B C		
	H28～29年度の指針 ・OT・PT支援(対象児童生徒一人3回) OT・PT全体連絡会の実施 ・教育専門監派遣による指導助言及び研修会の実施(年5～7回) ＜小3回、中・高各1～2回＞ ・合理的配慮の共通理解(年2回:内資料配付1回)、個別の支援計画への明記(7月)				
3 望ましい人格の発達を促す生徒指導の充実	○児童生徒の障害特性に応じたタブレット型端末の学習活用 (新推進目標:平成28年度より)				
	H28～29年度の指針 ・教員の実践力向上のための職員研修 ・学習の効果的活用を行うための環境整備 ・授業実践の推進				
	○保護者との共通認識に立った生徒指導の実践 ○横手地区高等学校生徒指導協会との情報共有 ○情報共有による未然防止と関係機関とのネットワークの拡充	生徒 指導部	C A C		
	H28～29年度の指針 ・生徒指導部報の年8回発行 ・情報モラル教育の推進及び通信機器の安全利用の指導 ・横手地生協への定期参加 ・警察・スクールサポーターとの定期的な情報共有 ・防犯・非行防止教室の実施				
	○小中高の縦割グループによるスマイル集会、全校行事の推進	生徒 指導部	B		
	H28～29年度の指針 ・代表委員運営による全校行事の活性化(運動会、餅つき交流、学校祭) ・児童生徒の実態に応じた小中高の具体活動内容の企画				
4 一人一人の自立と社会参加に向けた進路指導の充実	○キャリア発達を見据えた進路指導を行うための研修の推進 ○進路先に対する積極的な職場・職域開拓	進路 指導部	A A		
	H28年度の指針 ・個別の支援計画(移行支援計画)の内容の検討(年2回)・充実 ・地元企業・事業所、関係先との作業学習製品(製品開発)の連携 ・中・高等部キャリアノート(ステップアップ表)活用率100%				

5 安全・安心な学校づくりと安全教育の推進	○防災対策と安全教育の推進	小学部 中学部 高等部 医ケア	B C B B		
	平成28～29年度の指針 ・清潔で安全な教育環境整備 （教室環境の充実と管理箇所の整理整頓、点検重視） ・全職員による学校安全計画と危機管理マニュアルの確認と読み合わせ（定例職員会議時） ・職員防災研修、児童生徒の防災学習会の実施（年各1回）				

【目標2；地域に理解され、信頼される学校づくり】

※評価：A～到達度100～90% B～到達度80% C～到達度60%

具体的な目標・取組・推進目標	取組の具体	H27評価 (主担当部署)		年次の総合評価	
				H28	H29
1 交流及び共同学習の推進	○小・中学校、高等学校との交流及び共同学習の推進 ○居住地校交流の積極的推進 ○地域交流、地域貢献活動の推進	小学部 中学部 高等部	A B B		
	H28～29年度の指針 ・居住地校交流における出前授業の実施（小：年1回） ・れんげ草の会との交流回数増と交流内容の充実（小：年13回） ・農耕班による地域への花のプランター設置、管理（中：年8回） ・高等学校との共同学習の充実（バスケット・卓球等）（高） ・駅舎、公園、国道等の清掃・除雪作業の地域貢献（高）				
2 地域資源を活用した学習活動の充実	○学校地域支援本部事業、人材ボランティア事業による豊かな教育活動の展開 ○地域行事への積極的参加 ○地域資源を生かした学習の展開 ○言語活動の充実につながる読書活動の推進	小学部 中学部 高等部	B A B		
	H28～29年度の指針 ・読書活動の推進<読み聞かせ、地域図書館の活用>（小：年13回） ・読書活動の推進<県立図書館事業：移動図書館の活用>（全学部） ・秋田ふるさと村、かまくら館の他、観光サイド、公共施設における作業学習製品販売箇所の増設（高） ・地元企業との連携による作業学習製品づくり（高）、商工会との連携による「キャラクターてくてくん」の活用（全学部）				

【目標3；県南地区の特別支援教育を推進する学校づくり】

※評価：A～到達度100～90% B～到達度80% C～到達度60%

具体的な目標・取組・推進目標	取組の具体	H27評価 (主担当部署)		年次の総合評価	
				H28	H29
1 センターの機能の更なる充実	○教育、医療、福祉、労働機関等との連携の強化 ○研修会、相談事業への協力	支援部	A		
	H28～29年度の指針 ・教育委員会、自立支援協議会、すくすくネットワーク等との連携と協力 ・地域の特別支援教育センター校としての役割と組織の明確化（地域へ：具体の支援内容の発信） ・「ほっと相談会」の定期（年8回）・随時開催				
2 広報活動の充実	○ホームページの充実による速やかな情報発信 ○学校展やぎやらり一風の翼（ミニ学校展）による学校紹介活動の推進	図書 ・情報部	B		
	H28～29年度の指針 ・ホームページ掲載内容と構成デザインの検討→更新（毎月5回以上の更新、新コンテンツ3つ以上新設） ・学校展、ぎやらり一風の翼への積極的な出展（全学部）（新規場所の開拓（1カ所以上））				

※平成25年度、平成26年度は記述評価。平成27年度より、観点別評価を導入。
 ※平成28年度の取組の具体については、各学部、各分掌部による年間スケジュール（**取り組みと目標数値、評価の時期**）を6月に明示する。
 評価にあたっては、全職員による評価、主担当部署の評価（見直し、改善）を行う。
 ※平成29年度は、5か年計画の最終年度となることから、「H28～29年度の指針」をさらに精査して**次期5か年に渡る成果を明示**する。

これからの横手支援学校の経営に関わる視点（キーワード）

- ・新教育課程の編成：職業教育の視点（職業的資質・能力・態度の育成）
- ・肢体不自由児の教育の充実：職員の専門性の向上（自立活動）と指導体制の構築
- ・「てくてくん」構想（地域連携）：企業者・事業者、行政との連携
- ・企業連携型作業学習：（実習の拡大、実体験・本物との出会い）
- ・「児童生徒の育ち」の推進：学習目標・生活目標・保健目標（学校全体での取り組み）
- ・読書活動の推進：図書館との連携・本の増設・読み聞かせ（言語活動の充実）